

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成30年度事業 点検・評価調書

4-II-5

4-II
-5

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	見学ルートの作成・発信
	節 II. ガイダンス機能・ガイド体制の充実		
事業(施策)名	5 見学モデルルートの構築	事業主体	佐渡市世界遺産推進課
		関連団体	県文化行政課、佐渡市観光振興課
事業実施期間	H28～R4		
事業概要	【事業目的】	○資産内における適切な見学ルート(モデルコース)の構築により、来訪者への各構成資産の適切な理解を促す。	
	【事業内容】	○①来訪者が理解しやすいストーリー作り ②ストーリーに合わせた見学ルートの整備 ③見学ルートに係る情報提供を実施する。 また、運用開始後も来訪者ニーズに合わせて更新を検討する。	
30 事業 計画 と 実績	【30年度計画】	●平成29～31年度に策定する史跡整備基本計画において、整備方針に基づきモデルコースの内容を検討する。	
	【30年度実績】	●史跡整備基本計画の策定作業やガイダンス施設展示工事において、観光振興課と連携してモデルコースの内容を検討した。	
課題 ・ 今後 の 取組	【課題】	■誘導サイン等の設置や国・県・市道、トイレ整備等の受入体制の整備を併せて行う必要があり、今後も県・市の連携した取組みが必要である。	
	【今後の取組】	■平成30年度に引き続き、史跡整備基本計画の策定作業を進める。 ■モデルコースの効果的な運用を図るため、コース上の見学拠点となる遺跡や歴史的建造物の整備を行う。 ・令和元年度～ 金子勘三郎家修理	
事業 評価	【事業の達成度】	◇計画どおり、目標を達成できたことからBとした。 [a ◯ b ・ c]	
	【事業実施の効果】	[a ◯ b ・ c]	
	【総合評価】	[A ◯ B ・ C]	

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。